

空高く上げれ手作り凧！ 凧づくり講習会

町教育委員会と熊石ヤングサークルによる、凧づくり講習会が4月19日、熊石歴史記念館で行われました。講師に津軽凧絵師の成田幻節さんを招き、浮世絵や三国志などの絵が特徴的な「津軽凧」づくりに、児童ら15名が挑戦しました。児童らは、用意された和紙に、三国志の「祝融夫人」を描き、凧に糸を張る作業に悪戦苦闘しながらも思い思いに凧を完成させました。キャンプ場前に移動すると、完成したばかりの凧を空高く上げようと児童らは元気よく走り回っていました。



地域ぐるみで津波に備えて！ 相沼小学校、町内会合同 津波避難訓練

4月21日、相沼小学校（児童23人）と、相沼2区、3区町内会合同の津波避難訓練が行われました。午前10時40分から始まった訓練には全校児童や教員、町内会など約70人が参加しました。グラウンドに集合した児童らは、津波の発生を知らせる校内放送を合図に、一斉に約400m離れた高台の避難場所を目指しました。避難先の通称「あんぱ山」は、登り傾斜がきつく、カーブも多いため、参加者は息を切らしながら高台まで登り、約11分で全員が避難を終えました。



住民自ら手作り避難路！ 関内町内会避難路整備

5月10日、関内町内会（佐藤弘会長）が大地震による津波に備え、関内小学校の裏山高台（標高36m）への避難路の整備を行いました。2011年の東日本大震災後、「もっと高いところに避難する場所を」との声が高まり、2013年の春から町内会を主体に、住民自ら避難路の整備に着手。避難路は関内小学校の裏から、高台に続く総延長60mで、この日は、住民10名が、町から提供された単管パイプで手すりを取り付け、スコップで斜面を削り、階段を取り付けました。



交通ルールを正しく学んで！ 雲石小学校交通安全教室

熊石地域の各小学校で交通安全教室が行われ、雲石小学校（澤田晶校長、児童33名）では5月12日に、全校児童が参加して交通安全青空教室が開催されました。八雲警察署熊石駐在所の松本所長をはじめ、八雲町交通安全協会熊石支部の関係者も出席し、横断歩道の歩行時の注意や、自転車についての交通ルールの徹底、点検整備の大切さを学びました。

